

入院診療計画書「喉頭全摘出術を受けられる

さんへ」

経過 月日	入院～術前日	手術当日	術後1日目	術後2日目以降	確認サイン
到達目標	入院当日から手術前までのスケジュールがわかる。		手術の安静の目的が理解でき、出血や感染の予防に努めることができる。		退院後の生活について理解できる。
治療処置	入院中は病棟の診察室で、診察があります。 麻酔科の診察があります。	手術開始予定時間は()です。	酸素吸入を行います。 尿管が入っています。 3時間心電図モニターを装着します。 創部に管が入ります。 創部は1週間圧迫します。	酸素を中止します。 朝、尿管を抜きます。 手術後3日目位で創部の管が抜けます。	退院前に診察があります。 
手術	□無 □有 (術式:)				
検査	身長・体重を測ります。		必要に応じて採血などを行います。	飲み込みの検査があります。(7～10日目)	
薬剤服薬指導	日頃飲んでいる薬があればお知らせ下さい。 薬アレルギーや副作用があればお知らせ下さい。 薬剤師が薬の説明を行います。	8時頃医師が点滴を開始します。 (6時・9時)に薬を内服します。	維持点滴と抗生剤の点滴をします。 	経管栄養が入れば維持点滴は終了します。 抗生剤の点滴が1日2回あります。	抗生剤が内服へ変更になります。 薬剤師が薬の説明を行います。 
全身管理症状	体温・脈拍・血圧などを測ります。 今までの経過や合併症などについて伺います。	体温、脈拍、血圧を測ります。	体温、脈拍、血圧を適宜測ります。 痛みや息苦しさがありましたらお知らせ下さい。 術後は声が出せなくなるため、コミュニケーションは筆談やジェスチャーで行います。	痰を出す為に咳き込む練習をします※吸入を行います(3回/日)	
食事栄養指導	特別な栄養管理の必要性 □有 □無 ()食です。	(0時・朝食後)以降は食べられません。 ()以降は飲水もできません。	食べたり飲んだりできません。	お腹が動いているのを確認してから、鼻の管から注入が始まります。	制限はありません。 飲み込みの検査後、創の状態を確認して、許可があれば、経口的に(流動食から)開始します。
安静	制限はありません。	病棟内でお過ごし下さい。	ベッド上安静です。 創部の安静のため頸部を動かさないようにして下さい。 また、唾液は飲み込まずに吐き出して下さい。	トイレまでは歩行できます。 病棟内でお過ごし下さい。	制限はありません。
清潔	入浴していただきます。 		入浴できません。	状態に合わせて体を拭いたり、首下シャワー浴ができます。 医師の許可があれば介助で洗髪ができます。	制限はありません。
患者・家族への説明	入院診療計画書について説明します。 翌日の手術内容や合併症などについて説明します。 (/ 、 時頃の予定) ※急患や手術などにより遅れる場合がありますのでご了承下さい。 筆記用具の準備をお願いします。 術後の詳しい経過についてはパンフレットを用いて説明します。 治療・福祉などの相談がある場合は、看護師が相談員にお尋ねください。	手術同意書を提出して下さい。 	主治医から術中所見の説明があります。 ※手術によってはICUに泊まることもあります。 (泊予定)	術後の経過については、診察時などに適宜説明します。 ご不明な点は主治医にお尋ね下さい。 	退院後の生活について指導します。 原則として退院は午前中にお願いします。

※症状により、予定と異なる場合があります。分からないことがあればお気軽に主治医や看護師にお尋ね下さい。
※なお、この計画書を病院側から受け絵とられた後は、患者さんの責任の下、保管していただきますようお願い申し上げます。
(病棟 号室) 主治医 印 担当看護師署名 担当者署名